



分野

教育・文化・スポーツ

目標



未来の笑顔が輝くように、夢や希望にあふれるまちを実現する



成果指標	目標値
① 教育・文化・スポーツ分野の満足度	中間年度の数値を上回る
② 教育・文化・スポーツ分野のまちづくりの推進度	中間年度の数値を上回る

※調査未実施のため現状値なし。中間年度の数値とは、令和7年度に実施する市民意識調査の値。

関連する主な計画

関連する各部門の計画等と整合性を図り、総合的な観点から、この分野を推進します。

教育振興基本計画	生涯学習推進計画
----------	----------



市民・地域・行政と協働で取り組む共創のまちづくりとして、期待される役割

<p>市民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育に対する理解を深め、学校の運営に協力するとともに、地域における青少年の健全な成長をサポートする。 ● 生涯学習をはじめ、芸術・文化活動やスポーツ活動を通じて得た知識や経験を地域に還元する。
<p>地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校との連携を深め、学校行事や教育活動に協力することで青少年の健全な成長をサポートする。 ● 生涯学習の機会を活用し、地域づくりに取り組むとともに、生きがいづくりにつながるイベントの開催に協力する。
<p>行政</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● この分野に掲げる各政策・施策を推進する。





政策

7

一人ひとりの個性を活かして 学校教育を推進する



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
① 政策の推進度	調査未実施のため現状値なし	中間年度の数値を上回る
② 小学校における外国語科の実施に対する保護者の満足度	56.4%	56.9%
③ 全国学力・学習状況調査における平均正答率	小学6年生 全国平均とほぼ同じ 中学3年生 全国平均をやや下回る	全国平均以上

※中間年度の数値とは、令和7年度に実施する市民意識調査の値。

現状と課題

- 学校教育では、学習指導要領^{*1}を踏まえ、確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和の取れた生きる力の育成のため、デジタル社会に対応したICT機器の活用や、少人数指導教員^{*2}の配置などにより、学習指導の充実を図っていますが、「四街道の未来」を担う児童生徒を育むためには、引き続き市ならではの特色ある教育の推進が重要です。このため、外国語教育では、市内全小学校を教育課程特例校^{*3}として小学校1年生から外国語科の授業を行っており、今後も外国語指導助手^{*4}や英語専科教員等の配置に加え、市独自で採用した教材の活用などにより、外国語教育の一層の充実を図る必要があります。また、四街道ならではの体験ができる学習活動として、社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育^{*5}に加え、児童生徒が地域の魅力を学び、親しむことで市への愛着を深める取組が必要です。
- 四街道市における外国籍住民の増加に伴って、日本語を母国語としない子どもが増加傾向にあります。このため、学校では、語学指導員^{*6}の派遣や、教職員を対象とした日本語指導のための研修により、学校生活における支援を行っています。また、外国籍住民を対象とした日本語学習のサポートや相談窓口を担うボランティア団体である国際交流協会^{*7}と連携した支援を進めており、これらの支援を引き続き行う必要があります。
- 四街道市における不登校の児童生徒数は増加傾向にあり、不登校に至る背景は学校生活への不安や、家庭環境など個々によって異なるため、スクールカウンセラー^{*8}やスクールソーシャルワーカー^{*9}などと連携した教育相談体制の構築が必要です。あわせて、不登校の子どもたちが安心して学習に取り組める居場所づくりや社会的自立に向けた取組を進めることが必要です。
- デジタル化の進展や外国籍住民の増加などの社会的環境の変化に伴い、教職員に求められる指導内容は多様化しています。GIGAスクール構想^{*10}に基づいたICT機器の効果的な活用による学習指導や、外国にルーツを持つ児童生徒への日本語指導などに対応するためには、ICT支援員や語学指導員などの専門人材の配置に加え、教職員の教育実践力の向上を図る必要があります。
- 全国的に少子化が進行する中、市の児童生徒数は増加基調を維持しています。しかし、一部の学校には減少もみられており、学校間における不均衡が生じています。また、昭和40年代から50年代にかけて整備された学校施設が多く、耐震補強工事は完了しているものの、施設の整備が必要な時期を迎えています。このため、計画的な施設の更新・長寿命化のほか、学校の適正規模・適正配置の検討を進めることが必要です。

施策 7-1

学校教育の充実

施策の展開

- 四街道の未来を担う児童生徒の育成のため、デジタル社会に対応したICT機器の活用や、少人数指導教員^{※2}の配置などにより、効果的な学習指導を行います。
- 義務教育9年間を見通した連続性のある外国語教育により、発達段階に応じて、児童生徒の英語の聞く・読む・話す・書く能力の育成を図ります。
- 外国にルーツを持つ子どもへの支援のため、語学指導員^{※6}の派遣を行うとともに、教職員を対象とした異文化理解や日本語指導のための研修を行います。また、国際交流協会^{※7}と連携した日本語学習などの支援を行います。
- 児童生徒の社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育^{※5}を推進するとともに、児童生徒が将来について自ら考える機会を提供します。

主な取組

- 効果的な学習指導の充実
- 外国語教育の推進
- 外国にルーツを持つ子どもへの支援
- キャリア教育の推進

子どもたちに夢や希望をもっと育てほしい



施策 7-2

学校教育環境の整備

施策の展開

- 児童生徒の安心で安全な学校生活と心身の健全な発達に寄与するため、学校・教育環境の充実を図ります。
- スクールカウンセラー^{※8}やスクールソーシャルワーカー^{※9}などと連携した教育相談体制の構築を図ります。
- 不登校の子どもたちが安心して学習に取り組める居場所づくりや社会的自立に向けた取組を進め、子どもたち一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図ります。
- 社会的環境の変化に対応した指導を行うため、ICT支援員や語学指導員など専門人材の配置に加え、教職員の教育実践力の向上を図ります。
- 学校施設の計画的な整備・長寿命化のほか、給食施設の適正配置の検討を行うなど、学習環境の充実を図ります。
- 児童生徒数の不均衡を踏まえ、学校の適正規模・適正配置について推進します。
- 地域の自然・歴史・育まれた食などの魅力に親しむ学習機会として、大学や事業者と連携した体験料理教室などの知産知消^{※11}の取組を推進します。

主な取組

- 学校・教育環境の充実
- 教育相談体制の構築
- 不登校児童生徒への支援の充実
- 教職員の教育実践力の向上
- 学習環境の充実
- 学校の適正規模・適正配置の推進
- 知産知消の推進

デジタル化や国際化など現代に合わせた教育環境に期待！





政策
8

子どもの健全な成長を支える



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
① 政策の推進度	調査未実施のため現状値なし	中間年度の数値を上回る
② コミュニティ・スクール ^{※1} 導入校数	1校	17校
③ 「こども110番の家」新規登録件数	73件	116件
④ 青少年育成支援に関するイベントの参加者数	27人	70人

※中間年度の数値とは、令和7年度に実施する市民意識調査の値。

現状と課題

- 四街道市では、地域とともにある学校づくりを行うため、中央小学校をモデル校とし、コミュニティ・スクールの取組を推進しています。このコミュニティ・スクールでは、地域住民や保護者の代表者、学校の教職員などで構成する協議会を設置しています。放課後子ども教室^{※2}では、子どもの成長を見守る活動や、放課後・休日にさまざまな年代の子どもたちが集える居場所づくりを家庭・学校・地域住民が協力して進めています。今後も、共働き世帯の増加や核家族化の進行などに伴い、子どもを取り巻く環境が変化する中、家庭や学校に加え、地域住民も一体となって子どもの成長を支えることが必要です。
- 子どもたちを取り巻く問題は、いじめや不登校、ひきこもりなどといった心のケアが必要な問題が増加傾向にあります。また、デジタル化の進展に伴ってSNS^{※3}が広く普及したことなどにより、インターネットを介した対人関係に悩む子どもも増加傾向にあります。このため、市・学校と地域住民が一体となって子どもの抱える悩みに寄り添う相談体制の構築が必要となっています。
- 国の調査によれば、幼少期にさまざまな体験活動を行うことで、自尊感情が高くなる傾向にあると示されています。このため、地域住民と連携した体験活動の充実に加え、子どもたちが自ら企画・運営する体験活動の支援を行うなど、青少年の健全育成に取り組む必要があります。



施策 8-1

家庭・地域・学校の連携

施策の展開

- 心豊かで健やかな子どもの育成のため、コミュニティ・スクール^{※1}など、保護者や地域住民等の学校運営への参画を促進します。
- 地域ボランティアと連携して、登下校時の安全確保など、地域で子どもを見守る活動を推進します。
- 放課後子ども教室^{※2}をはじめ、子どもたちが地域住民や異年齢と交流する居場所の充実を図ります。

主な取組

- 地域と一体となった学校運営の推進
- 子どもと地域住民の交流促進
- 地域における子どもの居場所の充実

家庭や学校だけでなく
地域の方とも繋がって
感性豊かに育て欲しい



施策 8-2

青少年健全育成の推進

施策の展開

- 子どもたちの健全な育成を推進するため、市や学校、スクールソーシャルワーカー^{※4}などとの連携により、多様化・複雑化する相談内容に寄り添った相談体制の構築を図ります。
- 不登校や引きこもりの子どもに対し、家庭・学校以外の居場所づくりのきっかけとなる体験活動を実施します。
- 子どもたちが豊かな人間性を育むよう、地域住民と連携し、子どものスポーツ体験や農作物の収穫体験などの機会の充実を図ります。
- 子どもたち自らが企画・運営するイベント・式典の開催を支援することで、子どもが多様な価値観に触れる機会の充実を図ります。

主な取組

- 相談体制の構築
- 不登校や引きこもりの子どもの体験活動の実施
- 子どもの体験イベントの充実
- 子どもが企画・運営するイベントの開催支援

日々の生活では得られない
体験で、お子さんが
健やかに成長するように





政策 9 **生きがいづくりの環境を整備する**



成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値
① 政策の推進度	調査未実施のため現状値なし	中間年度の数値を上回る
② 市民大学講座 ^{*1} の受講者数	73人	123人
③ 市民文化祭 ^{*2} の参加者数	5,767人	27,081人
④ 週1回以上の運動実施率	58.8%	67.3%

※中間年度の数値とは、令和7年度に実施する市民意識調査の値。

現状と課題

- 生涯学習については、市や関係機関が展開している各種生涯学習情報を掲載した「まなびいガイドブック^{*3}」や、市民が講師となって市民の生涯学習をアシストする「生きがいづくりアシスト事業^{*4}」などにより、市民の主体的な学習活動を促進しています。生涯学習は学習成果の発表による自己実現や学習成果の地域への還元による社会貢献など、市民等の活躍のきっかけとして重要ですが、若者世代では生涯学習活動への参加割合が低い傾向にあることから、さまざまな世代の生涯学習に対するニーズを捉え、時代の変化に即した生涯学習を推進することが必要です。
- 市の伝統文化については、栗山ばやし・亀崎ばやし・内黒田はだか参りといった地域の風習が受け継がれているほか、郷土の歴史を伝える史跡などが市内に数多く点在しています。また、芸術・文化団体は市民文化祭や展示会などで広く活躍しており、市民等に心の癒しや感動を与えています。市の魅力ある芸術・文化活動の裾野をさらに広げていくためには、有形・無形の芸術・文化の資産の保全・活用に加え、団体活動への支援を通じた芸術・文化の振興が必要です。
- スポーツ振興については、競技力の向上のみならず、健康づくりとしても重要であるため、市民等が気軽に参加、体験できるスポーツイベントなどにより興味を深める取組が必要です。また、小中学校を対象としたスポーツについては、指導員の派遣に加え、休日部活動の地域移行に向けた検討を進めるなど、地域住民等と連携したスポーツ振興が必要です。また、社会体育や地域スポーツ活動の拠点となる総合公園のスポーツ施設については、老朽化が進んでおり、計画的な整備が必要です。



施策 9-1

生涯学習の推進

施策の展開

- 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進のため、「まなびいガイドブック^{※3}」の発行により、生涯学習意欲の向上を図ります。
- 事業者やさまざまな知識や技術を持った市民等と協力し、生きがいや心の豊かさにつながる生涯学習環境の構築を図るとともに、公民館の整備を実施します。
- 郷土愛を育み、まちづくりに貢献するきっかけをつくるため、大学等の高等教育機関などと連携し、市民に専門的知識等を提供する市民大学講座^{※1}を開催します。
- 市民の「学びたい」「教えたい」をつなぐ生涯学習生きがいづくりアシスト事業^{※4}を通じた学習機会を提供します。
- 市民が読書に親しむ場所としてだけでなく、交流・文化創造の支援拠点としての図書館となるよう、各種取組を展開します。

主な取組

- 生涯学習情報の提供
- 市民等の生涯学習環境の構築
- 市民大学講座の開催
- 生涯学習の人材の確保
- 図書館の魅力向上

「学びたい」「教えたい」を実現して、毎日がとっても楽しい!



施策 9-2

芸術・文化の振興

施策の展開

- 芸術・文化の振興のため、市の地域資源である伝統文化や史跡の保全・活用を推進します。
- 四街道の歴史を後世に伝えるための歴史と文化を学ぶ機会の提供を図ります。
- 市民文化祭^{※2}や展示会など、市民等や団体などの芸術・文化活動の促進や活動支援を図ります。
- 地域文化の振興拠点である文化センターの計画的な整備を行います。

主な取組

- 伝統文化・史跡の保全・活用
- 歴史と文化を学ぶ機会の提供
- 芸術・文化活動の促進・支援
- 文化施設の整備

伝統文化を未来にも芸術・文化の振興で心豊かな人生に



施策 9-3

スポーツの振興

施策の展開

- 多様なニーズを踏まえたスポーツの振興のためのスポーツイベントを開催するほか、団体が開催するイベントの支援を行い、市民等がライフステージに応じて安全かつ気軽にスポーツに親しめる機会を提供します。
- 学校の部活動等の充実を図るため、専門的な技術指導を行う外部指導者の確保・活用や市内小中学校への派遣を推進します。
- 休日部活動の地域移行に向けて、学校・保護者・地域団体等の代表者と連携した取組の検討を進めます。
- 総合公園体育館などのスポーツ施設の計画的な整備を行います。

主な取組

- スポーツの参加機会の提供
- スポーツ指導者の確保・活用
- 外部指導者の市内小中学校への派遣
- 休日部活動の地域移行に向けた検討
- スポーツ施設の整備

スポーツを通して心も体もリフレッシュ!

